

**外国人患者の受入れに係る病院向け調査の結果について**  
(平成 27～30 年度対象)

## ○ 回収状況

回収状況	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
回答病院数（機関）	201	187	235	201
回収率（%）	62.4	57.9	72.5	72.8

## ① 病院数・患者数ともに増加してきている。

受入れ数	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
<b>病院数（機関）</b>	14	15	25	<b>30</b>
<b>患者数（人）</b>	224	244	346	<b>589</b>

## ② 「中国」からの患者が最も多い点は、変化がないが、「健診・検診分野」・「治療分野」とともに「中国」やアジア各国からの患者が増加している。

## 《健診・検診分野》

(人)

国名	27 年度	28 年度	29 年度	30 年度
<b>中国</b>	<b>68</b>	<b>114</b>	<b>97</b>	<b>200</b>
<b>インドネシア</b>	0	0	0	<b>4</b>
<b>ベトナム</b>	0	8	2	<b>1</b>
ブラジル	0	0	8	0
韓国	2	0	0	0
その他	2	0	0	0
小 計	72	122	107	205

アメリカ、フィリピン

《治療分野》

(人)

国名	27年度	28年度	29年度	30年度
<b>中国</b>	<b>119</b>	<b>116</b>	<b>206</b>	<b>348</b>
ベトナム	0	3	12	11
インドネシア	0	0	1	9
アメリカ	3	0	1	3
トルコ	2	0	0	2
タイ	0	0	0	2
ブラジル	2	0	8	1
台湾	0	0	2	1
マレーシア	14	1	0	1
フィリピン	3	0	0	1
韓国	0	0	0	1
インド	0	0	0	1
ネパール	0	0	0	1
メキシコ	0	0	0	1
イギリス	0	0	0	1
モンゴル	3	1	0	0
ミャンマー	3	0	0	0
カナダ	2	0	0	0
ドイツ	0	0	2	0
その他	1	1	7	0
小計	152	122	239	384

マケドニア、イタリア、フランス、スーダン、不明

- ③ 価格設定は、診療報酬単価と「同じ又はそれ以下」が最も多い点は、変化がない。一方で、「2倍以上 2.5倍未満」や「3倍以上」が徐々に増加している。

(機関)

価格設定	27年度	28年度	29年度	30年度
診療報酬単価の				
<b>同じ又はそれ以下</b>	<b>7</b>	<b>5</b>	<b>12</b>	<b>16</b>
1.1倍以上 1.5倍未満	2	2	1	1
1.5倍以上 2倍未満	2	2	3	2
<b>2倍以上 2.5倍未満</b>	<b>2</b>	<b>4</b>	<b>4</b>	<b>7</b>
(同じ以上)2.5倍未満	-	-	1	-
2.5倍以上 3倍未満	0	0	0	0
<b>3倍以上</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>3</b>	<b>4</b>
小計	14	15	24	30

- ④ 診療分野・診療科は、「健診・検診」及び「概ね全分野」が多く、年々増加している。〈複数回答〉

(機関)

診療分野・診療科	27年度	28年度	29年度	30年度
<b>健診・検診</b>	<b>5</b>	<b>7</b>	<b>11</b>	<b>15</b>
<b>概ね全分野</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>10</b>	<b>11</b>
循環器(内)科	1	4	1	2
整形外科	0	2	1	2
放射(陽子)線治療(外)科	1	1	2	1
消化器(内)科	1	4	1	1
心臓(血)管外科	2	3	1	1
脳神経外科	1	2	1	1
分娩(産科)	0	0	1	1
歯科	1	1	0	1
リハビリテーション科	0	0	0	1
口腔外科	0	0	0	1
形成外科	0	0	0	1
眼科	0	0	0	1
消化器外科	0	0	0	1
婦人科	0	0	0	1
小児科	0	0	0	1
泌尿器科	0	0	2	0
透析内科	0	0	1	0
肝臓内科	0	0	1	0
免疫細胞治療	0	0	1	0
がん治療	2	1	0	0
腎臓内科	2	1	0	0
血管外科	2	1	0	0
ペインクリニック	0	1	0	0
その他	0	2	0	0
小計	23	35	34	43

⑤ 体制整備については、

機関の数で見ると、「医療通訳を院外から必要に応じて手配」、「国際医療コーディネーターとの連携」が多い。

各項目が受入れ病院に占める割合で見ると、平成28年度以降、全体的に減少傾向であることから、平成29年度以降に新規で受入れを始めた病院の中には体制が整っていないところもある。〈複数回答〉

(機関)

受入れに向けた体制整備	27年度	28年度	29年度	30年度
外国人患者受入窓口（国際診療科等の専門部署・スタッフ）の設置	5 (36%)	4 (27%)	5 (20%)	4 (13%)
多言語に対応した院内表示	6 (43%)	8 (53%)	8 (32%)	9 (30%)
医療通訳を院内のスタッフとして配置	4 (29%)	4 (27%)	4 (16%)	4 (13%)
<b>医療通訳を院外から必要に応じて手配</b>	<b>9</b> (64%)	<b>10</b> (67%)	<b>13</b> (52%)	<b>12</b> (40%)
多言語に対応した医療従事者（医師・看護師など）の配置	2 (14%)	4 (27%)	3 (12%)	7 (23%)
外国人患者受入れに対応した診療施設、入院施設の設置	2 (14%)	3 (20%)	2 (8%)	3 (10%)
契約書、同意書、検査内容説明書等の各種文書の多言語対応	5 (36%)	9 (60%)	8 (32%)	9 (30%)
情報発信・プロモーション活動	5 (36%)	4 (27%)	3 (12%)	7 (23%)
<b>国際医療コーディネーターとの連携</b>	<b>4</b> (29%)	<b>6</b> (40%)	<b>12</b> (48%)	<b>11</b> (37%)
国際医療コーディネーター以外の機関（国内外の医療機関、自治体、旅行会社など）との連携	7 (50%)	5 (33%)	5 (20%)	8 (27%)
その他	1 (7%)	1 (7%)	2 (8%)	2 (7%)
小計	50	58	65	76

※（ ）は、各年度の受入れ病院数に対する割合

⑥ 提供する業務（サービス）については、

機関の数で見ると、「必要書類の翻訳」、「同意書の締結」、「医療通訳・医療結果翻訳」、「患者情報の入手」が多く、年々増加している。

各項目が受入れ病院に占める割合で見ると、「必要書類の翻訳」が高くなっている。〈複数回答〉

(機関)

提供する業務（サービス）		27年度	28年度	29年度	30年度
事前	<b>患者情報の入手</b>	<b>6</b> (43%)	<b>17</b> (68%)	<b>17</b> (68%)	<b>20</b> (67%)
	<b>同意書の締結</b>	<b>5</b> (36%)	<b>18</b> (72%)	<b>18</b> (72%)	<b>22</b> (73%)
	ビザの手配	5 (36%)	5 (20%)	5 (20%)	7 (23%)
	<b>必要書類の翻訳</b>	<b>6</b> <b>(43%)</b>	<b>13</b> <b>(52%)</b>	<b>13</b> <b>(52%)</b>	<b>23</b> <b>(77%)</b>
	来日搬送の手配	5 (36%)	5 (20%)	5 (20%)	6 (20%)
	航空券・宿泊施設の予約	5 (36%)	4 (16%)	4 (16%)	4 (13%)
滞在	空港・医療機関・宿泊施設の送迎同行	4 (29%)	6 (24%)	6 (24%)	7 (23%)
	<b>医療通訳・医療結果翻訳</b>	<b>9</b> (64%)	<b>20</b> (80%)	<b>20</b> (80%)	<b>22</b> (73%)
	院内での特別食の提供	4 (29%)	10 (40%)	10 (40%)	17 (57%)
	支払い手続き	6 (43%)	15 (60%)	15 (60%)	19 (63%)
	生活面・観光での支援	4 (29%)	3 (12%)	3 (12%)	6 (20%)
帰国	アフターケアの支援・再診の調整	5 (36%)	7 (28%)	7 (28%)	9 (30%)
小 計		64	123	123	162

※（ ）は、各年度の受入れ病院数に対する割合